



2016年、新しい年が始まりました。今年、申年。「申」は「猿」とは書かない。「申」は、干支の十二支の9番目ですが、その意味としては「伸ばす」があるそうです。「草木が十分に伸び、実が成熟して香りと味がそなわり、固く殻におおわれていく時期」というそうです。

今では干支を使うのも年賀状や年が新しくなった時になってしまいました。いろいろと意味のあることが多く、昔は時間を表わしたり、農業にも利用されていたのが十二支でした。干支で年齢を聞くのも、年代が限られてしまうかもしれませんね。

テレビによると、申年の赤い肌着は縁起が良いとのこと。肌着売場にもコーナーが設けられていますね。今年一年が良い年になるように赤い物と身につけたいと思いました。(売買: 大和田)



ひとくちメモ

[ヨーグルトの効能]

健康食品としておなじみのヨーグルトですが、多くの種類があります。また、効能も様々です。インフルエンザや花粉症に効果を発揮するものがあるとのこと注目されています。

- ★LG21 ピロリ菌に対して抗菌作用を持つ乳酸菌
- ★R-1 免疫力を高める。インフルエンザ予防。
- ★ガセリ菌 整腸作用、免疫力の強化。内臓脂肪の減少。
- ★PA-3 尿酸値の低下。

ひとくちメモ



『電力の小売全面自由化』

最近、ニュース等で話題になっている電力小売全面自由化について、、、これまでは電気事業法の規制により、一般家庭では各地域にある電力会社からしか電気を購入することが出来ませんでした。すでに、平成12年3月からは、大規模工場等では電力の小売り自由化が実現されておりましたが、平成28年4月以降は、電気の小売業への参入が全面自由化されることにより、一般家庭でも電力会社を自由に選択できるようになります。

電力の小売全面自由化による最大のメリットは、様々な事業者が電気の小売市場に参入してくるため、いろいろな料金プランやサービスを選べるということです。従って、多彩な料金メニューの中から、自分のライフスタイルに合わせたプランを選ぶことができるようになります。平成27年12月28日現在登録されている小売電気事業者数は119社になり、その中には通信会社や旅行会社など異業種の企業も含まれており、自社のサービスとのセット割引プランもあります。各事業者による今までにはなかった、全く新しいプランやユニークなプランが期待されます。

また、その他に太陽光や水力発電のような再生可能エネルギーを中心に電気を供給する事業者や現在の住まいのエリア外で発電された電気の購入も可能となります。

※参考までに・・・

『電力供給のしくみ』は、電力小売業全面自由化になっても、原則、物理的な電力供給のしくみに変更はありません。

電力供給システムには大きく3つの部門に分かれます。

- ①発電・・・電気を作る部門で、既に原則参入自由。
- ②送電・・・発電所から消費者までの送電線・配電線などの送配電ネットワークの管理を行う部門。(消費者へ電気を届ける部門)
安定供給を行うため政府が許可した企業(東京電力等)が担当。
- ③小売・・・消費者が必要とするだけの電力を発電部門からの調達をする部門。
(新たに事業者が自由に参入できるようになった部門。)

ちなみに、電気の需要と供給は送配電ネットワーク全体で一致させないとネットワーク全体の電力供給が不安定になってしまいます。そのため、もしも小売事業者が電力を調達できなかった場合は、送配電部門の事業者がそれを補い、消費者へ電力がきちんと届くように調整をします。(資源エネルギー庁HPより)

【無料進呈中】知らないと損をする！ 『誰も教えてくれない不動産の賢い購入法』
～不動産取引って、分からない事が多すぎませんか？～

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引のいろいろな事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。この小冊子をご希望の方は小島北店までご連絡下さい。ニヤンとなく、お家探しはサービス1番の当社へ

引越 住宅ローン 税金 自己資金 資金計画

TEL 0246 (27) 0331